

平成30年度 群馬県立ゆうあいピック記念温水プール事業計画

I 事業内容

第5期指定管理5年間の初年度として、今後更により多くの障害者・高齢者の方々にスポーツを行う場の提供に取り組みます。

障害者スポーツの振興では、将来のスイマー育成と、障害を持った方々が日常的に運動のできる環境づくりに努めます。

また、「健康寿命延伸の拠点施設」として障害者、高齢者の方々がより健康で自立した生活を送ることができる支援を行うため、魅力ある新規事業を加え、障害者や高齢者に「からだに健康！こころに元気！」を提供し、地域の方々に信頼していただける施設を目指します。

さらに、当館の設置理念に共鳴していただける県内民間企業と事業を協働することにより当館独自の事業を推進し、利用者サービスの向上を図ります。

II 重点項目

1 プール事業の充実

(1) 水泳教室

①障害児水泳教室（水慣れ・水遊び）の開催

○障害児（小学生以下）を対象に、水慣れ・水遊びを通して水泳を始めるきっかけを作ることが目的とします。

②障害児水泳教室（初心者）の新規開催

○障害児（小学生以下）を対象に、クロール、背泳ぎの基本動作を学び、各泳法が泳げるようになることを目的とします。

③障害児水泳教室（初級者）の新規開催

○障害児（小学生以上）を対象に、泳力の向上を図り、競技会への出場を目指し、将来のアスリートを養成することを目的とします。

(2) 健康づくり教室

①水中運動教室の新規開催

○メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、サルコペニアの「三大シンドローム予防教室」を開催し、水の浮力を利用して全身のバランス能力の低下を予防します。

②水中ノルデックポール教室の新規開催

○水中専用のノルデックポールを使用し水中ストレッチと水中歩行の補助をすることにより、効果的なりハビリや水中運動を行います。

③水中運動器具ハイドロトーンを利用した水中有酸素運動

○ハイドロトーンの正しい知識を習得するためのハイドロトーン認定講習会を開催します。

○認定講習会受講者が自由にハイドロトーンを使用できる「ハイドロ開放」を行います。

○ハイドロ開放時に職員がプールに入り指導を行います。

(3) 自由参加型のプール事業

①自由参加型水中レクリエーションの「ひまわり教室」を開催します。

②一人10分間程度の個人レッスンやビデオ撮影を行うワンポイントレッスンを行います。

③水中歩行や泳いだ距離を記録し、群馬県1周を目指す「群馬めぐり」を行います。

2 利用者に「からだに健康！ ころに元気！」をキーワードに開催

(1) からだに健康塾の開催

障害者や高齢者が気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとなり、生涯スポーツの振興と推進を図ることを目的に開催します。

- 優良企業協賛による「PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）事業」として障害児者を対象とした「群馬ヤクルト水中運動会」身体障害者と高齢者を対象とした「群馬ヤクルト杯ゆうあいグラウンドゴルフ大会」を各年間1回開催します。
- 体力、体内年齢を測定し健康管理を行う、「生き生き健康測定」を年間6回開催します。
- 芝生広場を使用して「ゆうあいグラウンドゴルフ大会」を年間1回開催します。
- 新規事業として、群馬県立県民健康科学大学と連携し、プール利用が利用者の健康や体力の維持増進に寄与しているか、効果を客観的に検証します。

(2) ころに元気塾の開催

障害者や高齢者のメンタルケアの一環として心にゆとりが生まれ、多くの仲間が増えストレスが軽減できることを目的に開催します。

- 障害者と健常者の交流を目的とした「ゆうあいフェスティバル」を様々な企業等の協賛を得て年間1回開催します。
- 日本の伝統的な季節のイベント（こどもの日・七夕・県民の日・冬至・新年餅つき・ひな祭り）を行います。
- 館内に利用者の作品を一堂に展示する「ゆうあい文化祭」を年間1回開催します。
- 職員やボランティアが講師となり、特技や趣味を指導する「文化教室」を年間1回開催します。
- ハイキングを楽しみ、満開の桜の下で昼食をとる「健康ハイキング」を年間1回開催します。

III 地域貢献活動等

1 地域に密着したサービスの実施

(1) 地域における公益的な活動

- 「渋川市高齢者等あんしん見守りネットワーク」に参加し見守り活動を行います。
- プールの無い保育園や小・中学校にプール授業の場を提供します。
- 児童を対象に障害者や高齢者に対する思いやりの心を育成する子供福祉体験を行います。
- 障害を理解し、共生社会を目指すために障害者週間記念イベントを開催します。
- 環境美化を目的とした近隣の道路を清掃するクリーン作戦を行います。

(2) 利用者サービス

- 整形外科相談・内科相談・リハビリ相談を毎月各1回行います。
- 看護師による健康相談を行います。
- 渋川市内の駅や団地を中心に交通手段のない障害者や高齢者のため、送迎バス路線を従来の5路線から6路線に増便し、利便性の向上を目指します。
- 近隣の障害者・高齢者グループホームの要望や公民館活動等との連携によりデマンド送迎を運行します。

2 環境保全に対する取組と人にやさしい福祉のまちづくり

(1) 3R運動の実施

- リデュース（抑制）として灯油年間使用量の削減と、電力の省エネに努めます。
- リユース（再利用）としてゆうあい図書館にて古本の貸出しを行います。

○リサイクル（再生利用）として古新聞、プルタブ、ボトルキャップの回収を行います。

(2) 環境美化活動の実施（利用者・ボランティア・職員が三位一体となって実施）

○プール北斜面、ロータリー広場に花卉を植える花いっぱい運動を行います。

○ラウンジ外側にグリーンカーテンを造るグリーン化計画を実施します。

(3) 人にやさしい福祉のまちづくり

○EAP（エマージェンシー・アクション・プラン）として職員が定期的に館内外を巡回し危険箇所の除去・改良を行います。

○障害者・高齢者に「見易く、分かり易く、使い易い」を基本に掲示物などを見直すなどユニバーサルデザインを積極的に採用していきます。

(4) 利用者の意見を聴いて更に利用者満足度アップを図ります。

○利用者の苦情や要望に迅速に対応するため、年間2回利用者満足度調査を実施します。

○「ゆうあいポスト」、「ありがとうボックス」を併せて設置し、意見や要望をより把握できるようにしていきます。

○群馬県社会福祉事業団情報保護規程に基づき個人情報を保護します。

○群馬県社会福祉事業団情報公開規程に基づき必要な情報を開示します。

(5) 当館の利用者が設立したクラブを応援します。

○歌声コーラス、手話コーラス、リズムダンスクラブの活動を積極的に応援します。

3 研修の充実

(1) ボランティア・職員研修

障害者・高齢者が安心して施設の利用ができるよう、日頃より障害者の介助や当館の教室・イベントをサポートしていただいているボランティアへの研修を行うとともに、職員の専門知識向上に努めます。

①ボランティア研修

○登録ボランティアに対して必要な知識や技術の研修を年間4回行います。

○新規ボランティアの心得を習得するためのボランティア講習会を年間1回行います。

②職員研修

○知識向上・泳力向上・防災訓練・法令遵守の4区分として研修を行い、障がい者スポーツ指導員として必要な専門知識向上を目指す職員研修を年間4回行います。

○昨年、プール内で起こった水難事故を教訓として、水難訓練は従来の年7回から12回に増やし、利用者の安全性を向上させます。

IV 平成30年度 利用者数目標（障害者利用者数は「成果目標」）

| | 利用者数総数 | 障害者利用者数 (内数) |
|---------------|---------|--------------|
| 平成30年度目標 | 56,500人 | 12,000人 |
| 平成29年度実績(見込み) | 56,100人 | 11,900人 |
| 平成28年度実績 | 56,053人 | 11,897人 |